

踊りで華を添えた

愛知万博アメリカ・インディアナデー

アメリカ・インディアナ州から、州知事をはじめとする代表団が愛知万博を訪問。それに合わせて8月5日、万博会場アメリカ館前イベント広場で、インディアナデーのイベントが行われました。三好町は同州コロンバス市と友好提携を結んでいることから、三好いいじやん普及会と踊華三好から26人がゲストで参加。州知事のあいさつの後、たくさんのお客様の前に堂々の踊りを披露し、大きな拍手を受け、記念イベントに華を添えました。



忘れられない思い出

士別市小学生派遣団解団式

町内各小学校の代表28人で結成された士別市派遣団。7月26日から29日まで北海道士別市で過ごした思い出を胸に、8月9日役場で解団式が行われました。団長の小栗一夫三吉小学校長は「テーマの『つながりよ、三好と士別の心と心を』が達成できました」と報告。続いて天王小学校6年の谷崎里沙子さんが「士別の子どもたちと仲良くなれました。両市町の交流がずっと続いてほしいです」と忘れられない思い出を発表しました。



笑顔は世界の共通語

ベル地球博(ベル三好幼稚園)

ベル三好幼稚園で8月1日、ベル地球博と題したお祭りが開催されました。「笑顔は世界の共通語」をテーマに、民俗衣装などを着た全園児320人が参加。先生たちは各国の衣装でフラメンコや劇などを熱演し、園児たちは世界中の言葉であいさつしたり、踊ったりして最後まで盛り上がりを見せていました。村上芳枝園長は「笑顔であいさつすることの大切さ、世界中の言葉や文化を学んでくれたと思います」と笑顔で話していました。



心が通い合う貴重な体験

子ども会リーダー・指導者交歓会

子ども会活動の活発化を図るため7月30日と31日、総合体育館などで子ども会リーダー・指導者交歓会が行われました。今年で25回目となるこの行事。三好町と長野県三岳村から合わせて138人が参加し、Eポート試乗体験やレクリエーション大会を楽しみました。三岳村の男子は「Eポートが楽しく、三好町の子たちと貴重な経験ができました」と交流が深まった様子。2日目には愛知万博を見学し、思い出深い交歓会となりました。



大空高く飛んでゆけ

ペットボトルロケットを飛ばそう

「ペットボトルロケットを飛ばそう」と題した講座が8月3日、明越会館で開かれました。参加した10組の親子は、ペットボトルを使ったロケットを協力して製作。完成後、ロケットに水と空気を充てんして打ち上げました。地をはって行くものや空高く飛ぶものなどさまざまで、自分たちで作ったものを飛ばすことの楽しさを実感していました。母親の一人は「作るのは大変でしたが、高く飛んで、親子で喜んでいきます」と満足していました。



実践から学ぶ

不審者への対応方法を学ぶ研修会

北部小学校で8月5日、町内各小中学校の生徒指導と希望の先生を対象に、不審者への対応方法を学ぶ研修会が行われました。参加者18人は、豊田警察署生活安全課の警察官から、対応策の講話を聞いた後、「さすまた」の使い方や女性教員も実践できる護身術を体験。先生の一人は「もしものときに対応できるよう、実際にその場でどう動き連携するか、普段から繰り返し訓練が大切だと痛感しました」と気を引き締めていました。

